

TOTO

前方ボード(スイングタイプ)

EWC740型
EWCS740型


商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)


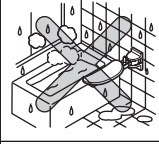

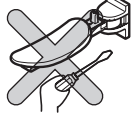


取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告		
	屋外や浴室など、水がかかったり湿気が多い場所には取り付けない 腐食により手すりが外れたり、湿気などにより本来の機能を損ない、けがをするおそれがあります。	
	修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理・改造は行わない 商品の破損や脱落により使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	
	必ず強度のある壁・建築構造体に取り付ける 土壁・石こうボード壁などの強度のない壁に直接取り付けると、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	

警告

必ず当社指定の固定金具を使用する

当社指定の固定金具を使用しないと、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。



十分な下地の厚さ、および補強があることを確認し、指定の取付方法で取り付ける

下地に十分な厚み、補強がなく、各下地の指定取付方法を守らないと、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

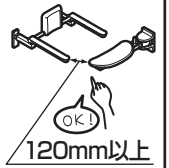


取り付け完了後、商品にガタツキがないことを確認する

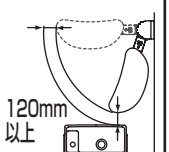
商品にガタツキがあると、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。



トイレ用手すり(EWC77型、EWCS77型)や可動式手すりと前方ボード(スイングタイプ)を取り付けるときは、商品間の空間を120mm以上確保する
身体の一部(首など)を挟まれてけがをするおそれがあります。



前方ボード(スイングタイプ)の可動範囲と前方の壁や手洗器などの固定物との空間を120mm以上確保する
身体の一部(首など)を挟まれてけがをするおそれがあります。



必ず実行

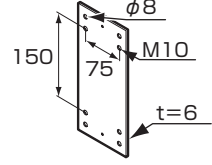
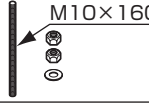
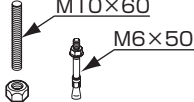
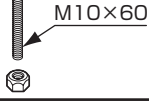
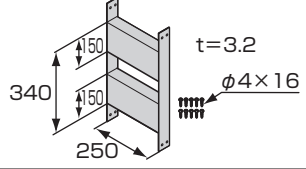
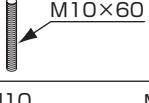
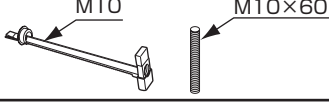
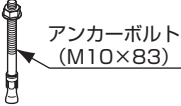
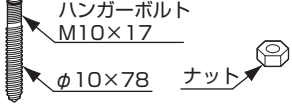
2 取り付け前に

取り付け前の注意

- 商品を取り付ける壁に **十分な強度がある** ことを確認してください。
- 取付方法は **建物の構造に応じて適切な方法を選んで** ください。
 本商品は、商品本体と壁への固定金具が別々の品番となっていますので、壁の構造に応じて別途固定金具をご注文ください。固定金具は商品1つに対して1つ必要です。固定金具必要セット数は「**3** 固定金具(別売品)」を参照してください。
- **前方ボード(スイングタイプ)の可動範囲に障害物のないこと** を確認してください。
 可動範囲については「**6** 完成図」を参照してください。
- 商品の取付位置は「**6** 完成図」やカタログなどを参照してください。
- **商品表面に傷を入れると補修できません** ので、取り扱いには注意してください。

3-1 固定金具(別売品)

〈固定金具一覧表 前方ボード(スイングタイプ)〉

品番	形状	セット内訳
T110D61		・取付プレート/1枚
T110D50		・長ねじボルト/4本 ・座金/4個 ・ナット/8個
T110D51		・長ねじボルト/4本 ・ナット/4個 ・アンカーボルト/4本
T110D52		・長ねじボルト/4本 ・ナット/4個
T110D36		・取付金具/1枚 ・ドリルねじ/10本
T110D53		・長ねじボルト/4本
T110D54		・長ねじボルト/4本 ・メカナット/4個
T110D17S		・アンカーボルト/4本
T110D25		・ハンガーボルト/4本 ・ナット/2個 ※ナットはハンガーボルトねじ込み時のスパナ掛けとして使用します。

〈固定金具一覧表 I型手すり用〉

品番	形状	セット内訳
T110D11	100×100×t6 M6 φ8	固定箇所：1カ所分 ・取付プレート/1枚
T110D42	M6×60 M6×50	固定箇所：1カ所分 ・長ねじボルト/4本 ・座金/4個・ナット/8個 ・アンカーボルト/4本
T110D43	M6×150	固定箇所：1カ所分 ・長ねじボルト/4本 ・座金/8個 ・ナット/12個
T110D37	t=3.2 150 250 φ4×16	固定箇所：1カ所分 ・取付金具/1枚 ・ドリルねじ/10本
T110D44	M6×50	固定箇所：1カ所分 ・ボルト/4本 ・座金/4個
T110D45	φ5×45	固定箇所：1カ所分 ・ドリルねじ/4本 ・座金/4個
T110D46	M6 M6×50	固定箇所：1カ所分 ・メカナット/4個 ・ボルト/4本 ・座金/4個
T110D3R (L=85)	L M6	固定箇所：1カ所分 ・アンカーボルト/4本
T110D16 (L=50)	L φ6	固定箇所：1カ所分 ・コーチねじ/4本 ・座金/4個
T110D26	φ8×40	固定箇所：5カ所分 ・樹脂プラグ/20個

〈固定金具必要個数一覧表〉

下地(取付方法)	コンクリート下地(注1) GL工法(注2) (取付プレート埋め込み固定)	コンクリート下地(注1) (アンカーボルト固定)	木下地・ コンクリートブロック下地(注3) (取付プレート挟み込み固定)	木下地 (ハンガーボルト固定)
前方ボード(スイングタイプ) (EWC740)	T110D51×1 T110D61×1	T110D17S×1	T110D50×1 T110D61×1	T110D25×1
前方ボード(スイングタイプ/I型 手すりセット)(EWC5740)	T110D51×1、T110D61×1 T110D11×2、T110D42×2	T110D17S×1 T110D3R×2	T110D50×1、T110D61×1 T110D11×2、T110D43×2	T110D25×1 T110D16×2注4・5
下地(取付方法)	軽量鉄骨下地 (ボルト固定)	軽量鉄骨下地 (メカナット固定)	軽量鉄骨下地 (取付プレート溶接固定)	
前方ボード(スイングタイプ) (EWC740)	T110D36×1 T110D53×1	T110D36×1 T110D54×1	T110D52×1 T110D61×1	
前方ボード(スイングタイプ/I型 手すりセット)(EWC5740)	T110D36×1、T110D53×1 T110D37×1注6、T110D44×2注7	T110D36×1、T110D54×1 T110D37×1注6、T110D46×2注8	—	

※太字はI型手すりの固定金具です。取付方法および固定金具についてはI型手すりの施工説明書をご参照ください。

注1 【コンクリート下地の場合】I型手すりの場合は、プラグ固定も使用できます。プラグ固定に変更する場合は、I型手すりの固定金具を「T110D16×2、T110D26」に変更してください。なお、T110D26(樹脂プラグ20個入り)はねじの本数に応じてご注文ください。ねじの本数は8本です。

注2 【GL工法の場合】GL厚40mm以下(I型手すりの場合は50mm以下)の場合のみ使用できます。

注3 【コンクリートブロック下地の場合】コンクリートブロック裏面から壁仕上げ面までの厚さが125mm以下の場合のみ使用できます。125mm以上の場合は長ねじボルトの長さが不足するため、必要な長さのM10長ねじボルトを別途現場手配してください。

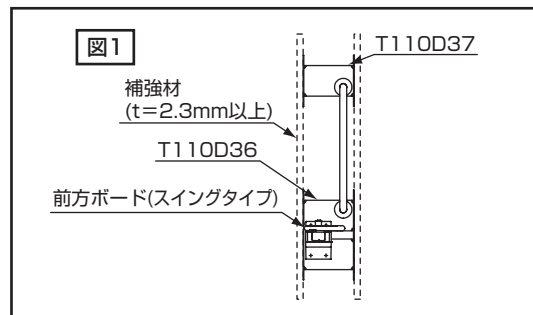
注4 I型手すりの場合は、コーチねじ固定をご使用ください。なお、I型手すりは厚さ12mm以上の構造用合板(JAS規格品)または同等以上の下地材に取り付けてください。

注5 I型手すりの場合は、壁仕上げ面の厚さが15mm以下の場合、T110D23も使用できます。

注6 I型手すりの下側固定部は前方ボード(スイングタイプ)の固定金具をご使用ください。(図1)

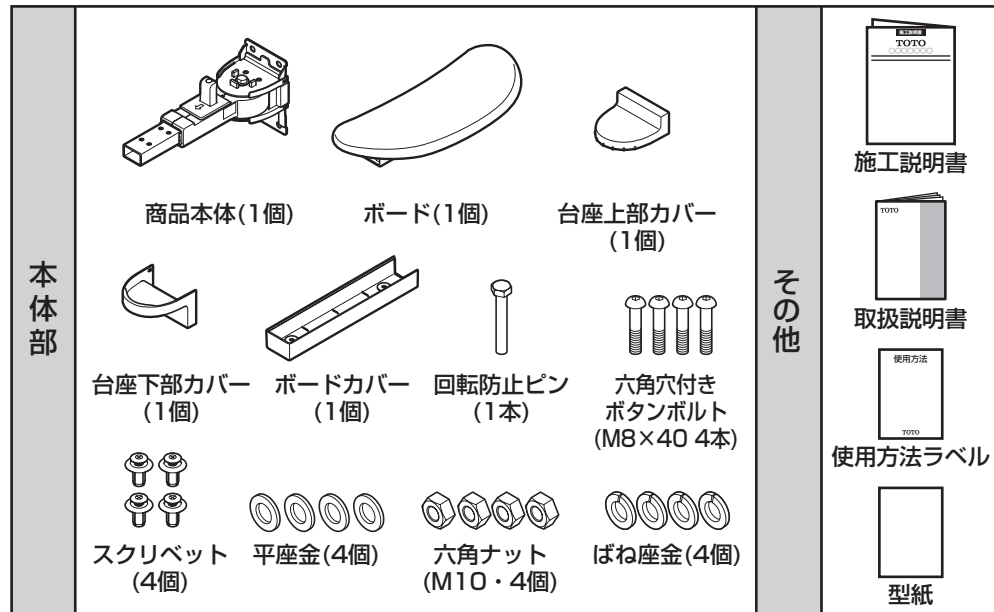
注7 I型手すりの場合は、ドリルねじ固定も使用できます。ドリルねじ固定に変更する場合は、「T110D44」を「T110D45」に変更してください。

注8 I型手すりの場合は、ドリルねじ固定も使用できます。ドリルねじ固定に変更する場合は、「T110D46」を「T110D45」に変更してください。



4 部品の確認

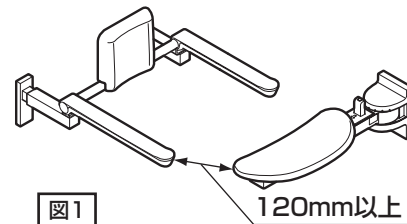
次の部品があることを確認してください。



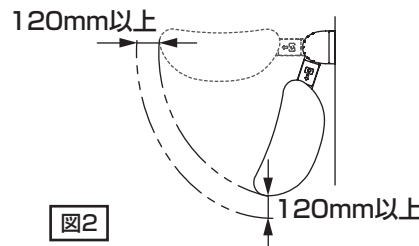
5 取り付けにあたっての確認項目

周辺器具・壁とのすき間の確認

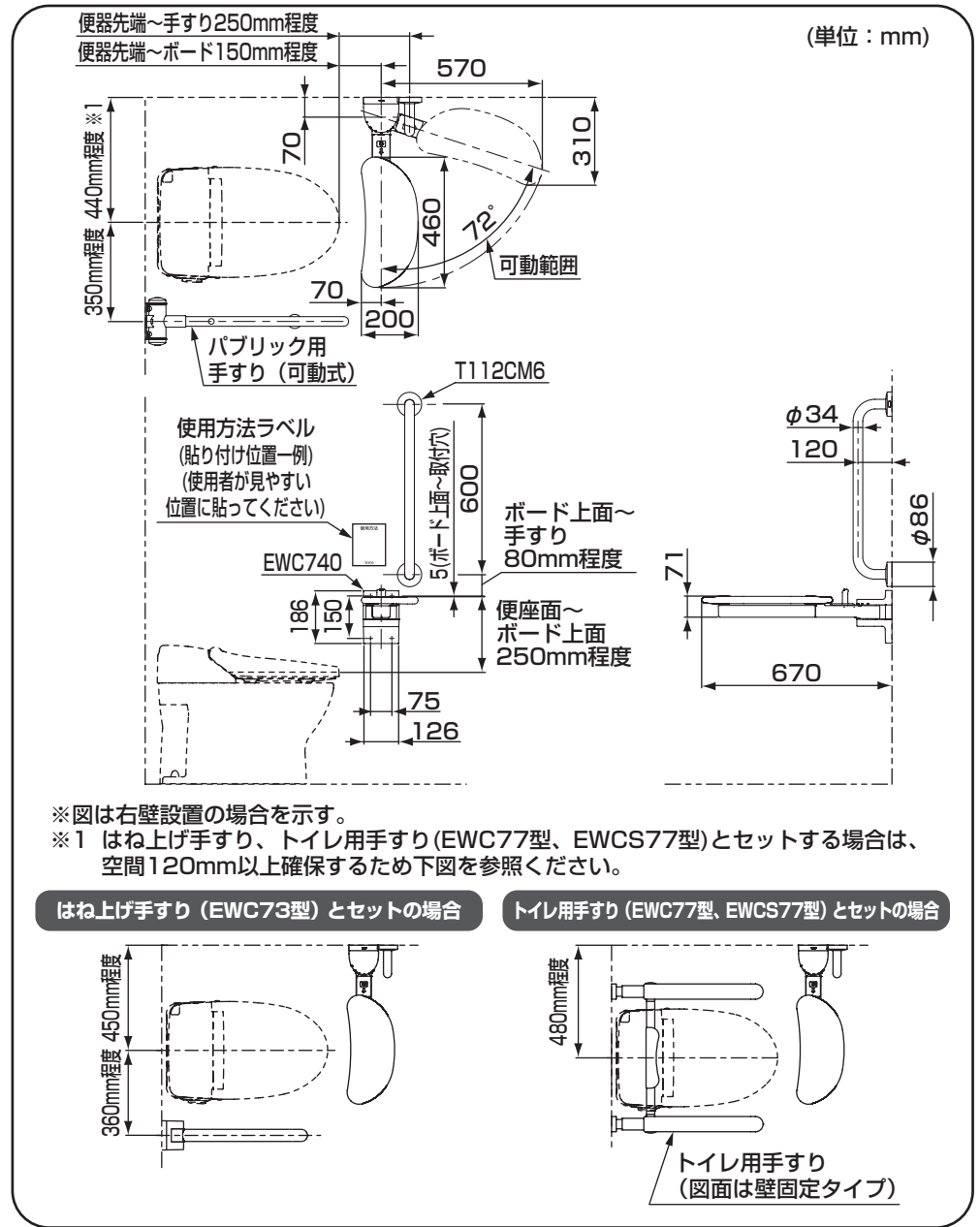
■ トイレ用手すり(EWC77型、EWCS77型)や可動式手すりを組み合わせる場合は空間(図1参照)を120mm以上確保してください。身体の一部(首など)を挟まれてけがをすることがあります。



■ 前方ボード(スイングタイプ)の可動範囲と前方の壁や手洗器などの固定物との空間(図2参照)を120mm以上確保してください。身体の一部(首など)を挟まれてけがをすることがあります。



6 完成図



7.1

施工手順

1. 位置決め・壁への固定金具の取り付け

商品の取付位置を決め、壁に固定金具を取り付ける。

※同梱の「型紙」をご利用ください。

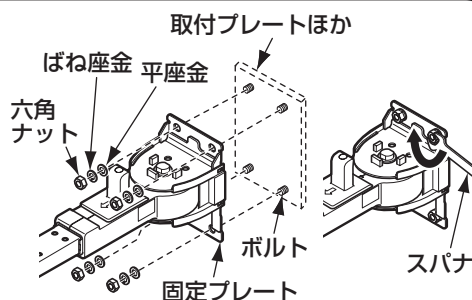
※固定金具の取付方法は「8 壁への固定金具の取り付け」の各固定方法を参照してください。

2. 商品本体の取り付け

壁仕上げ面から出たボルトに、固定プレートと平座金とばね座金を通したあと、六角ナットをスパナで締め付ける。

注意

六角ナットを強く締め過ぎてタイルを割らないように注意してください。

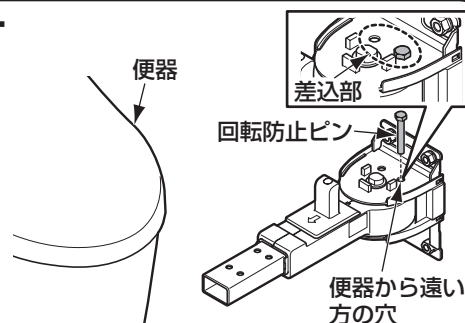


3. 回転防止ピンの取り付け

便器側にボードが動かないようにするため、便器から遠い方の台座上部の穴から回転防止ピンを差し込む。

注意

回転防止ピンの頭と台座にすき間がないよう確実に差し込まれていることを確認してください。

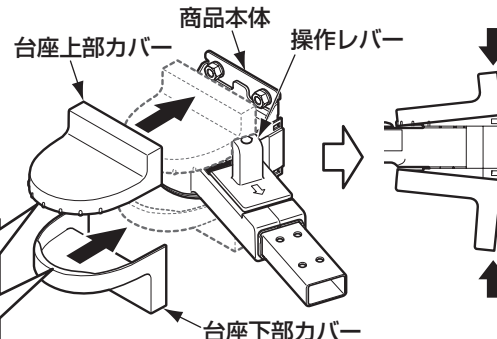


4. 台座上部カバー、台座下部カバーの取り付け

ボードを壁側に寄せ、操作レバーを引きながら台座上部カバーを矢印の方向にスライドさせる。その後、「カチッ」となるまで上から押し込んでほめる。

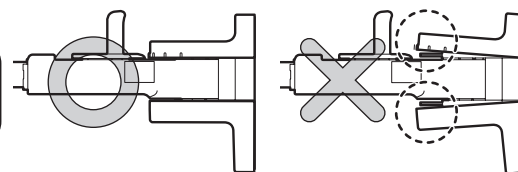
台座下部カバーも同様にスライドさせ、下から押し込んでほめる。

カバー先端の突起を商品本体に掛けるようにスライド



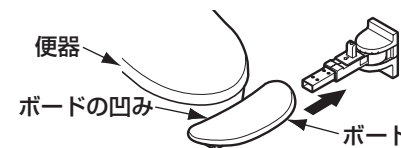
注意

カバーが確実にハマっていることを確認してください。



5. ボードの取り付け

ボードの形状が凹んでいる側を便器側にくるようにボードを商品本体に差し込む。



6. 六角穴付きボタンボルトの締め付け

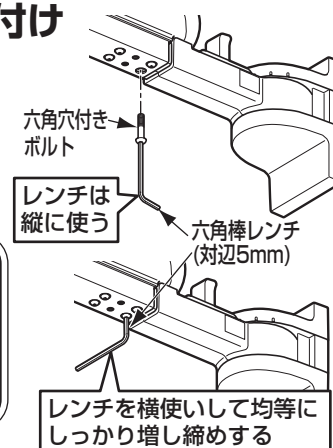
- ① ボードの壁側の穴に六角棒レンチ(対辺5mm)の長い方を使って六角穴付きボタンボルト(4本)が突き当たるまで均等に軽くねじ込む。
- ② 六角棒レンチの短い方に差し替えて、均等にしっかりと締め付ける。(①の状態から90°~120°程度増し締め)

警告



必ず実行

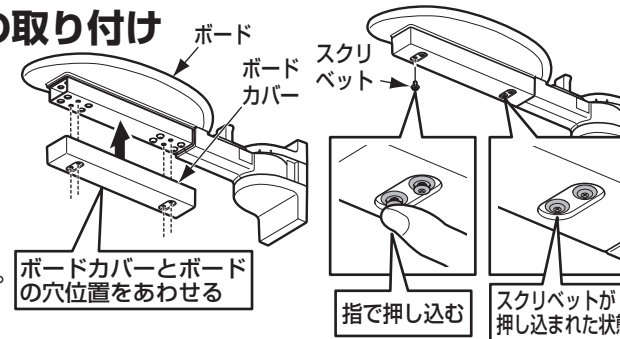
ボルトはしっかりと締め付ける
締め付けが足りないと、ボードがガタついたり、脱落したりして、使用される方が転倒して、けがをするおそれがあります。



7. ボードカバーの取り付け

ボードカバーをボードの穴位置にあわせて当てて、スクリベットで固定する。

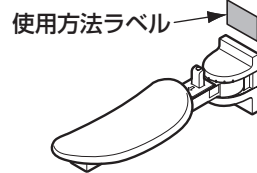
スクリベットは穴に差し込んだあと、中央の飛び出している部分を押し込んで取り付ける。



7-2

8. ラベルの貼り付け

使用方法ラベルを、使用者が見やすい場所に貼り付ける。
※お客様が貼る場合は、使用方法ラベルを必ず渡す。



これで取り付けは完了です。⑨点検項目にしたがい、点検を実施してください。

8-1

壁への固定金具の取り付け

コンクリート下地：アンカーボルト固定の場合

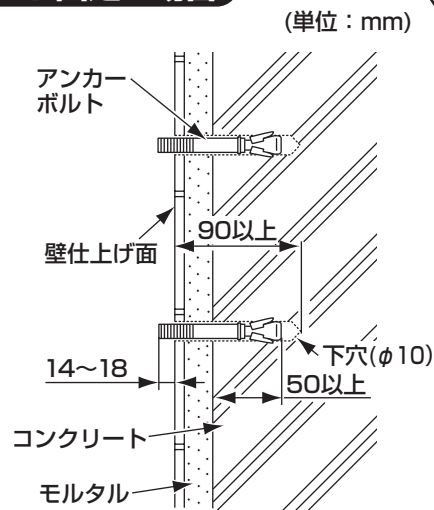
固定金具品番 T110D17S

- ①心出しをしたあと、 $\phi 10\text{mm}$ 、深さ90mm以上のアンカーボルトの下穴をあける。**注1**
- ②ナットをアンカーボルト上端から2mm程度ねじ込み、下穴に軽く打ち込む。**注2**
- ③アンカーボルトのナットを締め付ける。
(これにより、アンカーのクサビが開き、アンカーが抜けなくなります)
- ④アンカーボルトのナットを外す。
- ⑤アンカーボルトの出代が壁仕上げ面より14~18mmの範囲となるように調整する。**注3**

※固定金具に同梱のアンカーボルトのナットは商品を取り付けるときには使用しません。

注意

- 注1**：コンクリートに $\phi 10\text{mm}$ 、深さ90mm以上の下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。
- 注2**：アンカーボルトのコンクリートへの埋め込み代は50mm以上となるようにしてください。
- 注3**：アンカーボルトの出代が壁仕上げ面より14~18mmの範囲となるように調整してください。



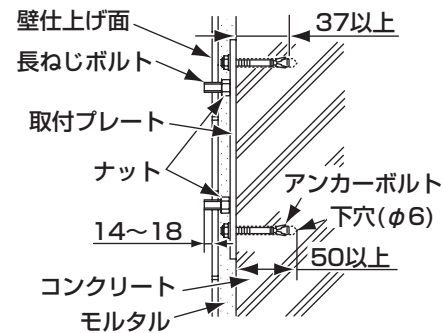
8-2

コンクリート下地・GL工法：取付プレート埋め込み固定の場合

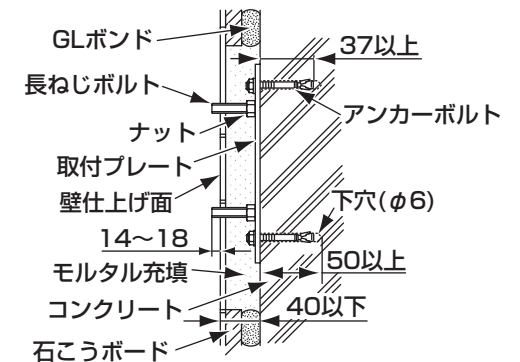
固定金具品番 T110D51+T110D61

- ①心出しをしたあと、 $\phi 6\text{mm}$ 、深さ50mm以上のアンカーボルトの下穴をあける。**注1**
- ②ナットをアンカーボルト上端から2mm程度ねじ込み、取付プレートの取付穴に通し、下穴に軽く打ち込む。**注2**
- ③アンカーボルトのナットを締め付ける。
(これにより、アンカーのクサビが開き、アンカーが抜けなくなります)
- ④取付プレートのボルト穴に、長ねじボルトをねじ込み、ナットで締め付ける。**注4**
- ⑤壁仕上げ後、長ねじボルトの出代が壁仕上げ面より14~18mmの範囲となるように調整する。**注3・4**

コンクリート下地の場合



GL工法の場合



注意

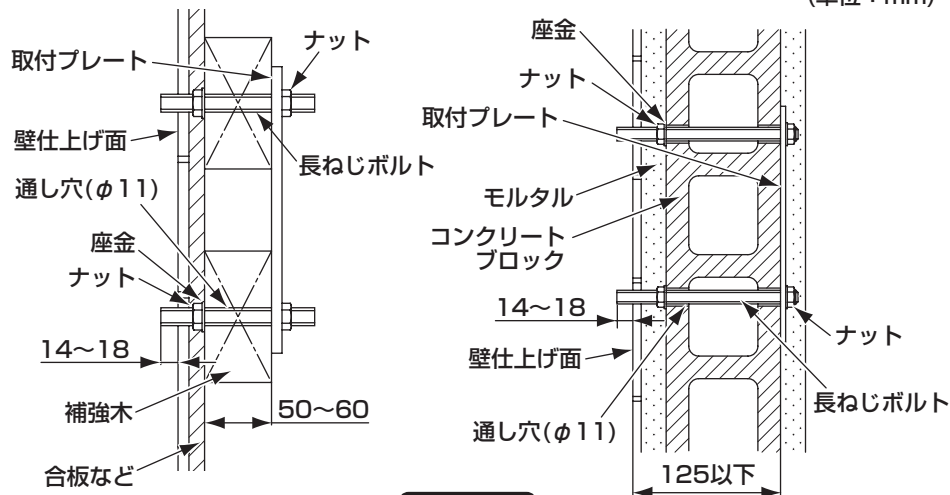
- 注1**：コンクリートに $\phi 6\text{mm}$ 、深さ50mm以上の下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと取付プレートの確実な固定ができないことがあります。
- 注2**：アンカーボルトのコンクリートへの埋め込み代は37mm以上となるようにしてください。
- 注3**：ボルトの出代が壁仕上げ面より14~18mmの範囲となるように調整してください。
- 注4**：ボルトの長さが短い場合は、M10長ねじボルトを現場調達してください。

木下地・コンクリートブロック下地：取付プレート挟み込み固定の場合

固定金具品番 T110D50+T110D61

- ①木下地の場合、事前に商品取付部に厚さ50～60mmの補強木を取り付ける。**注1**
- ②心出しをしたあと、φ11mmの長ねじボルトの通し穴をあける。**注2**
- ③取付プレートのボルト穴に長ねじボルトをねじ込み、ナットで締め付ける。
- ④長ねじボルトを通し穴に差し込み、壁裏側に取付プレートを当て、商品取付側より座金、ナットで締め付ける。
- ⑤壁仕上げ後、長ねじボルトの出代が壁仕上げ面より14～18mmの範囲となるように調整する。**注3・4**

(単位：mm)

**注意**

- 注1：**木下地の場合、厚さ50～60mmの補強木を必ず取り付けてください。補強木は強度のある柱などにしっかりと取り付けてください。
- 注2：**コンクリートブロック下地の場合、空洞部をモルタルなどで埋める必要はありません。
- 注3：**長ねじボルトの出代が壁仕上げ面より14～18mmの範囲となるように調整してください。
- 注4：**ボルトの長さが短い場合は、M10長ねじボルトを現場調達してください。

木下地：ハンガーボルト固定の場合

固定金具品番 T110D25

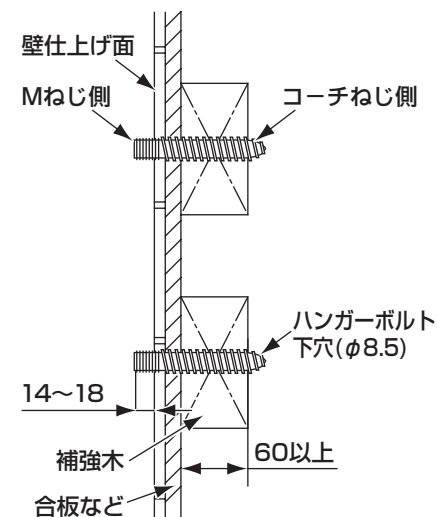
- ①事前に商品取付部に厚さ60mm以上の補強木を取り付ける。**注1**
- ②心出しをしたあと、φ8.5mmのハンガーボルトの下穴をあける。**注2**
(タイル壁の場合は、タイル部のみφ11～13mmの通し穴をあける)
- ③ハンガーボルトに同梱のナット(2個)をダブルナットで固定する。(下図参照)



ナットを2個ねじ込み、お互いのナットを逆回して締め付け、固定する。

- ④③で固定した、ダブルナットを工具で回し、下穴にハンガーボルトをねじ込む。**注3**
- ⑤壁仕上げ面よりボルトの出代が14～18mmの範囲となるように調整する。**注4**
- ⑥ダブルナットを取り外す。

(単位：mm)

**注意**

- 注1：**厚さ60mm以上の補強木を必ず取り付けてください。補強木は強度のある柱などにしっかりと取り付けてください。
- 注2：**補強木にφ8.5mmの下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。
- 注3：**必ずナット(2個)をダブルナットとして壁にハンガーボルトを取り付けてください。
- 注4：**ハンガーボルトの出代が壁仕上げ面より14～18mmの範囲となるように調整してください。

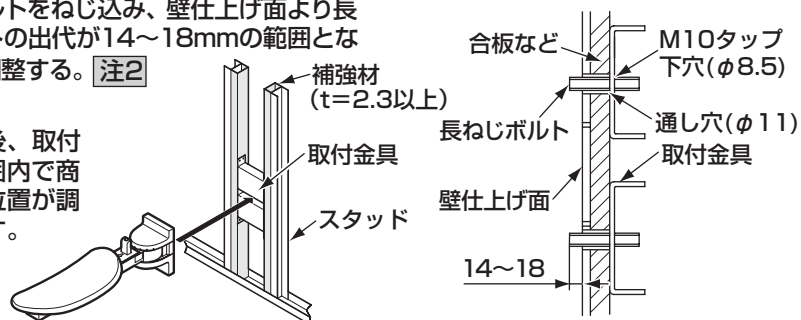
軽量鉄骨下地：ボルト固定の場合

固定金具品番 T110D36+T110D53

- 商品取付位置に、軽量鉄骨用取付金具を補強材の軽量鉄骨(t2.3mm以上)にドリルねじで固定する。**注1**
- 壁仕上げ後、商品の心出しを行い、M10タップ加工の下穴φ8.5mmをあける。壁仕上げ部にφ11mm程度の通し穴をあける。
- 軽量鉄骨用取付金具にM10タップ加工を行う。
- 長ねじボルトをねじ込み、壁仕上げ面より長ねじボルトの出代が14~18mmの範囲となるように調整する。**注2**

(単位：mm)

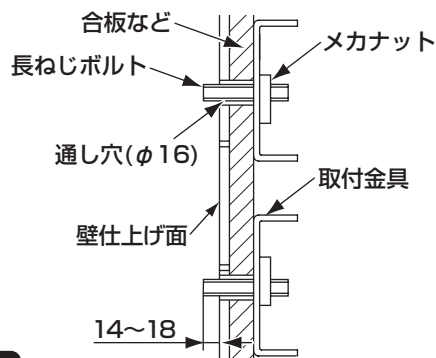
※壁仕上げ後、取付金具の範囲内で商品の取付位置が調整できます。



軽量鉄骨下地：メカナット固定の場合

固定金具品番 T110D36+T110D54

- 商品取付位置に、軽量鉄骨用取付金具を補強材の軽量鉄骨(t2.3mm以上)にドリルねじで固定する。**注1**
- 壁仕上げ後、商品の心出しを行い、メカナットの通し穴φ16mmをあける。
- メカナットを通し穴に挿入し、セットする。
- 長ねじボルトをねじ込み、壁仕上げ面より長ねじボルトの出代が14~18mmの範囲となるように調整する。**注2**



注意

注1：補強材の軽量鉄骨はt2.3mm以上を使用してください。

注2：長ねじボルトの出代が壁仕上げ面より14~18mmの範囲となるように調整してください。

軽量鉄骨下地：取付プレート溶接固定の場合

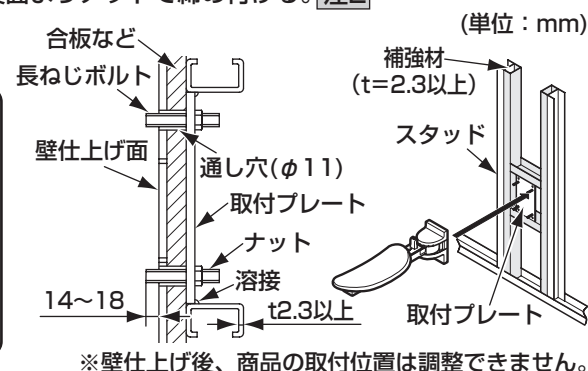
固定金具品番 T110D52+T110D61

- 心出しをしながら取付プレートを補強材の軽量鉄骨(t2.3mm以上)に溶接固定する。**注1**
- 取付プレートの穴に、長ねじボルトをねじ込み、壁仕上げ面より14~18mmの範囲となるように調整し、壁裏面よりナットで締め付ける。**注2**
- 壁を仕上げる。

注意

注1：補強材の軽量鉄骨はt2.3mm以上を使用してください。

注2：長ねじボルトの出代が壁仕上げ面より14~18mmの範囲となるように調整してください。



9

点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

ガタツキの確認

商品にガタツキがないか確認してください。

商品は壁にしっかり取り付けていますか？



7 「施工手順」および

8 「壁への固定金具の取り付け」を参照し、対応ください。

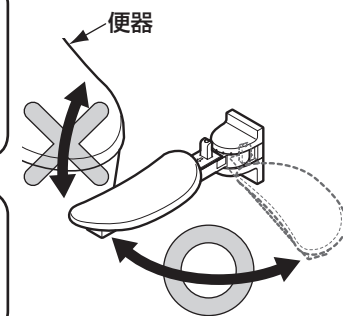
ボードの動作確認

ボードが便器前方に動き、便器上まで動かないか確認してください。

ボードの動作は正常ですか？



7 「施工手順」を参照し、対応ください。



※同梱の取扱説明書と、貼り付けていない場合は使用方法ラベルを、必ずお客様にお渡しください。